

いずもぎ

議会だより



稲刈り(六郎女地区 神条地内)

第69号

2010

平成22年11月5日

9月定例会

もくじ

・ 定例会のあらまし	2～3
・ 決算認定	4～5
・ 一般質問	6～9
・ 町民の声「退職から農業に」	10

発行/出雲崎町議会
責任者/議長 中川正弘
編集/議会報特別委員会

〒949-4392
新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地
TEL. 0258(78)3112 FAX. 0258(41)7322

* 定例会で決まった補正予算(特別会計) *

会 計	補 正 額	補正後の予算額
国民健康保険事業 (第2号)	1,143万5千円	5億4,420万7千円
介護保険事業 (第1号)	1,341万7千円	6億 661万7千円
簡易水道事業 (第1号)	350万円	1億3,200万円
農業集落排水事業 (第1号)	150万円	1億7,400万円
住宅用地造成事業 (第1号)	946万6千円	1,616万6千円



採 決

特別会計補正予算

おもな歳出

- ・平成21年度退職者医療交付金返還…… 1,127万5千円
- ・介護給付費準備基金積立追加…………… 204万8千円
- ・国庫支出金等過年度分返還金追加…………… 643万円
- ・一般会計へ繰出金追加…………… 437万5千円
- ・水道配水管移設工事(吉川地内)…………… 350万円
- ・管路移設補償工事(吉川地内)…………… 150万円
- ・団地買戻料…………… 750万7千円

可決した条例改正など

◆町犯罪のない安全で安心なまちづくり条例
・安全意識の高揚と安全安心な生活の確保のため制定するもの。

◆町過疎地域自立促進計画の策定について

・平成22年度から5年間の計画の大枠を定めるもの。

可決した意見書

◆私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度の抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書

提出先

衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・文部科学大臣・財務大臣
総務大臣・県知事

◆「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書

提出先

内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長
法務大臣

◆外国人地方参政権付与法案提出の慎重な対応を求める意見書

提出先

衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣
外務大臣

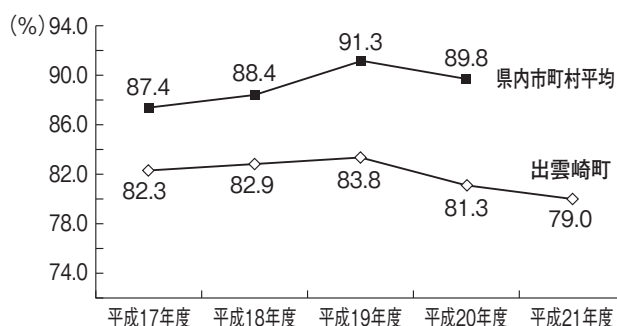
決 算 を 認 定

実質収支額は、1億5,633万1千円(1億622万8千円減)

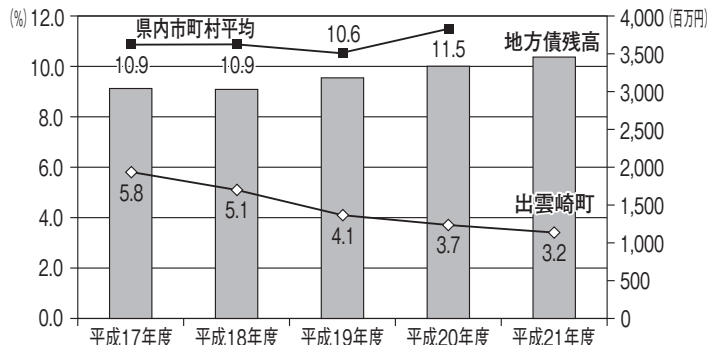
財政調整基金に2億7,435万7千円を積立て。

() 内は前年度対比

経常収支比率の推移



起債制限比率の推移



地方債年度末残高

34億5,594万円

(1億2,078万7千円の増)

積立基金年度末現在高

28億3,432万7千円

(2億3,392万7千円の増)

審査の主な意見

- ・ 不用額の計上の仕方に工夫を。
- ・ 未利用町有地について、売却等早期処分を。
- ・ 資源ごみの収集について、負担軽減を。
- ・ 町林業の振興及び災害防止のため、造林地の間伐推進を。

一般会計運営状況と財政指標

区 分	平成21年度	平成20年度
歳 入 総 額 (千円)	3,863,858	4,010,618
歳 出 総 額 (千円)	3,742,374	3,835,282
差 引 総 額 (千円)	121,484	175,336
繰 越 財 源 (千円)	27,706	23,930
実 質 収 支 額 (千円)	93,778	151,406
実 質 収 支 比 率 (%)	4.4	7.3
経 常 収 支 比 率 (%)	79.0	81.3
人 件 費 (%)	24.2	23.0
公 債 費 (%)	14.5	14.7
公 債 費 比 率 (%)	5.4	5.9
起 債 制 限 比 率 (%)	3.2	3.7
公 債 費 負 担 比 率 (%)	10.9	11.3
財 政 力 指 数	0.251	0.258

望ましい比率

- 実質収支比率……3～5%
- 経常収支比率……70～80%
- 公債費比率……10～13%以下
- 起債制限比率……13%未満
- 公債費負担比率……20%以下
- 財政力指数……1に近い

平成21年度の

一般会計並びに特別会計(9会計)の決算は

歳入総額	57億8,406万円	(5億1,797万1千円減)
歳出総額	56億2万3千円	(4億751万9千円減)
差引総額	1億8,403万7千円	(1億1,045万2千円減)

(1)国民健康保険事業会計

歳入	5億4,301万7千円
歳出	5億2,244万8千円
差引き額	2,056万9千円

・保険給付費が66.5%

(2)老人保健会計

歳入	527万6千円
歳出	385万3千円
差引き額	142万3千円

・医療費が減りました

(3)介護保険事業会計

歳入	6億1,849万2千円
歳出	6億548万8千円
差引き額	1,300万4千円

・保険給付費が93.4%

(4)後期高齢者医療会計

歳入	6,254万6千円
歳出	6,180万1千円
差引き額	74万5千円

・広域連合への納付金が95.9%



決算審査中

(5)簡易水道事業会計

歳入	1億5,805万1千円
歳出	1億4,881万8千円
差引き額	923万3千円

・施設の維持管理

(6)特定地域生活排水処理事業会計

歳入	1,976万2千円
歳出	1,830万1千円
差引き額	146万1千円

・公債費が56.4%

(7)農業集落排水事業会計

歳入	1億7,904万3千円
歳出	1億7,087万9千円
差引き額	816万4千円

・公債費が76.5%

(8)下水道事業会計

歳入	3億773万8千円
歳出	3億27万3千円
差引き額	746万5千円

・公債費が66.8%

(9)住宅用地造成事業会計

歳入	2,627万7千円
歳出	2,578万8千円
差引き額	48万9千円

・用地買収費(JA跡地)

一般質問

おたずねします

お答えします

国勢調査による人口の

増減について



小林 泰三 議員

質問 10月1日に5年に一度の国勢調査で、いろいろな調査がおこなわれます。ほとんどの人が一番気になるのが、人口の増減だと思います。

前回の調査は中越地震の一年後でした。

この時の人口減少率が新潟県で一番高いのが川口町でしたが、地震の被害が大きく、直後だったために仕方がなかったという声がたくさんありました。2番目に高いのが出雲崎町、3番目が栗島浦村でした。

今回川口町は、長岡市と合併したので川口町の名前は出てこないと思われます。

そうすると前回2番目

だった出雲崎町が一番になるのではないかと、私は心配しています。今回の調査にあたり、人口の増減予想について町長の考えをお聞きます。

答弁 国勢調査が注目されておることは事実であります。総務省が3月1日現在、人口の住民基本台帳に基づく調査結果が発表されていますが、新潟県においては、1万人超の人口減少、本町については、推計で5千人をきり4千901人と数値が出ております。人口減少していることは間違いないと思いますが、国勢調査は、役場に届け出なく、住所変更せずに住んでおら

れる方も調査対象に含めることになっています。このため、実態に即した調査をしてみなければ、この数値については、今申し上げる段階ではございません。こ

の5年間はてまり団地・川西の第2団地造成等行い、この団地に町外からおいでいただいた方が現在80人住んでおられます。全国的にも人口減少時代に入っておりますので、楽観を許さない数字が出るのではと思っています。新しい施策も実行し漫然と結果に甘んじているわけではありません。あくなき挑戦をしてまいります。



大勢でやると楽しいね！（出中体育祭）

町道管理予算と 緊急医療情報キットについて



宮下 孝幸 議員

①町道管理予算

質問 当町が管理する町道は124・4 km。その中で生活に直結する除雪対象道路は85 kmに及んでいます。

年度当初、この道路の維持管理に充てる道路請負予算は500万円でした。地球温暖化の影響か、私達が四季折々を堪能してきた季節感なるものはとうに破壊され、毎年立て続けに所かまわず起こる風水害や地震被害の数々は、正に異常気象…。よって、町民の生命線ともいえる町道の日常における維持管理は大変重要であり、年度当初とはいえ、500万円の予算にはいささか懸念が残ります。

天災を決して人災としてはならないとの考えから、せめて倍額1千万円以上の予算を付け、なお一層磐石とすべきと考えますが、当局の見解を伺います。

答弁 町道に関わるものは、道路修繕料と道路維持修繕費の2つの項目により、合わせて800万円となっています。議員ご指摘の通り、当然、劣化や破損により、年間においては不足します。補正予算をお願いします。合計1千415万円となります。これを「当初予算で」とのお考えであります。が、年度当初は、歳入の不確定要素もありますので、慎重を期す必要があります。

②緊急医療情報キット

質問 住民の安全安心を担保する為には、徹底してやっていくという方針には変わりありませんのでご理解下さい。

質問 なじみの薄いこの制度は、東京都港区から始まり、現在、全国に飛び火しています。一人暮らしの高齢者が、最も不安に思うことは、自分に万一があった時と知られていきます。65歳以上の希望される高齢者や独居世帯に配備される

るキットは、冷蔵庫に保管された筒状のケースです。中には、診察券や保険証の写しから、掛かりつけ病院、投薬の種類、あるいは過去の病歴からアレルギーの有無などの医療情報が記載されています。



救急医療情報キット（東京都港区）

緊急時、救急隊がキットの情報を元に、搬送先の病院に、この事前情報を提供することにより、搬送後、いち早く医師の的確な救命治療が開始でき、救命率も高くなると言われています。

答弁 高齢者の場合、刻々と変わる病状や投薬の種類などに対し、どのように対

応するか、あるいは町だけではなく、救急隊や医療機関などとも、合わせての取り組みが必要と思われます。現在、当町では、高齢者世帯に緊急通報システムなどの設置も成されています。

医療情報が緊急時、大切な役割を果たすとの認識は持っていますので、今後、それぞれの機関と十分な意思疎通を図り、制度・成果などの確認をしながら、適切に対処して参ります。

三大疾病の対策について



田中

元 議員

質問 当町の財政事情は安定しており、県下トップクラスにありますが、病気のことになりますと、逆の結果がでております。

県福祉保健部の平成19年度の調査によりますと悪性新生物死亡数は10万人当たりがワースト2で、心疾患と脳血管疾患の数は、各々ワースト1です。

同年の基本健康診査受診率は、良い方から7位と高い水準にあり、早期発見、早期治療に努めている状態にあるにもかかわらず、死亡率が高い原因がよくわからない状況にあります。

やはり住民一人一人が、健康管理について、真剣に考えなければならぬと考

えます。住民の意識改革を求めると共に行政としてこの不名誉な記録を、払拭されていくのか、考えを伺います。

答弁 指摘の三大疾病の他に平成20年は人口千人当り18.1人、県下平均が10.5人とこれも大きく上回っておるのが現実です。同年に死亡された方が95人で三大疾病による亡くなった方が66%をしめています。

また、年齢別では80才以上の方が全体の70%近くになっていきます。これには、高血圧、高脂血症等による生活習慣病が大きく影響しているとも考えられます。

平成19年度の健康増進計

画、健康いすもざき21を策定、町民が生がいを持ち元気な暮らしのできる町づくりを目指し施策を進めています。

また、万病のもとと言われる糖尿病の予備軍が驚くほど高い数値がでております。

先般も担当課の職員に対し、住民の生命、安全、安心して暮せることが一番の基本であるから、経費がどんなに増大しても、物心両面で町民の健康保持に全力を挙げて三大疾病を減少させるよう指示をいたしました。



元 気が い ち ば ん (高齢者スポーツ大会)

佐渡金山の世界遺産登録との

連携について



三輪 正 議員

質問 この事については6

月の全員協議会で提案し質問いたしましたが、再度取り上げさせていただきま

す。
6月以降も佐渡金山の世界遺産登録について、単独登録を目ざす動きなどが、新聞やマスコミに時々報道され、関心が高まっております。

また、登録へ向けての運動調査が、国や県、あるいは佐渡市を中心にして実施されております。

当町でも世界遺産登録への関心が高まっており、7月に新潟市で開催された「世界遺産講座」の講師は、当町尼瀬出身の山崎完一氏でした。

当町からも多数の方が参加されました。

妻入りの街並整備も着々と進んでおりますが、佐渡金山との深い歴史を生かすことによりこの街並も生きてきます。

佐渡金山の世界遺産登録は、出雲崎町にとって観光面や交流人口増などに対してプラス効果は非常に大きいと思われれます。

今後、町の積極的な対応が必要と思いますが、町長の考えを伺います。

答弁 現在、佐渡市や県なども世界遺産推進室等を設け、登録に向けて全力を挙げているわけですし、当町も町を挙げて協力をするこ

とは必要であると考えております。

遺産指定を受けるためには何をすべきか、町として

の役割について今後、具体的にどうすべきか、登録に向けて町も積極的に協力したいと思っています。

質問 昨年の9月議会、一

般質問において街並整備と活用について、一つの課だけでなく関係部署の建設課、産業観光課や教育委員会など連携して進めてほしいと要望いたしました。

また、世界遺産登録関連の問い合わせが町にあるのかお聞かせください。

答弁 街並とこの世界遺産は切り離して考えなければなりません。

街並整備は全力で進めており、効果を上げるべく努力をしておりますので、ご理解をいただきたいと思います。町への世界遺産関連の問い合わせはありません。

今後、町として佐渡市長なり県の推進室長に対して、町への要望があれば、町はやりますよという事を申し入れたいと思っております。



佐渡金山 金銀陸揚之地碑（天領の里）

町民の声

退職から農業に

滝谷 河崎 政則



秋作業（来年に向けて）

私は、高校を卒業以来務めていた職場を昨年退職し、今年度から農業一筋でやっています。春先の畑仕事、4月からの水田耕起（滝谷の場合は生産組合で仕事をしています）代掻き、5月の田植、色々忙しい日々を過ごしてまいりました。

今年は、田植後の長雨、又夏の高湿多湿で非常に農家にとっては大変な年でした。

9月の稲刈については、早生種については稲刈も順調でしたが、しかしコシヒカリの刈取は雨にたたられ、難儀をしました。刈取った籾をライスセンターに運びましたが、すべて二等米、来年こそはと心を新たにしています。

9月末に堆肥を全耕作地に入れこみ、今、秋耕起の最中です。

田の仕事が終りしだい、夫婦で温泉でも行き来年の農業を考えようと思います。期待して下さい。



表紙の小話

暑い暑い異常な秋が過ぎ、9月下旬から六郎女地区の稲刈が始まり、雨のあい間を見ながらの少しづつの刈取作業、倒伏した稲を家族総出で刈取り、大変御苦労されたと思います。しかし、見ていて気持は温かいものが感ぜられ、ほのぼののしました。

（諸橋和史）



あとがき

猛烈な暑さが過ぎ、農作業も大体終わりに近づいています。

今年は、猛暑日・熱帯夜の影響で、米作は、一等米比率が20%を切る見込みで推移しています。農家収入の見込みも大幅減!!

漁業、観光、製造あるいは商業の皆さんはいかがでしたか。

9月議会も猛暑の中で行なわれ、補正予算、決算審議も無事終了しました。

急に寒さが増し、冬の大雪が懸念されます。また、今年は国勢調査の年、人口等の問題や色々と心配は尽きません。

体に気をつけて、趣味や仕事に励んでください。

災害のないことを願っています。

（諸橋和史）